

五名ふるさとの家・いのしし祭り

12月7日 五名ふるさとの家・五名活性化センター



今回で13回目となる祭りの目玉は、200人限定の猪汁で、これを味わおうと開催前から長蛇の列ができました。今年も、猪の丸焼や猪バーガーなど、猪を使ったユニークな料理が並んでおり、五名ならではの味覚の数々に舌鼓を打ちました。

障がい者施設訪問

12月11日 白鳥園

障がい者福祉への関心と理解を深め、障がいのある人の社会参加への意欲を高めるため、障がい者週間が設けられています。これにちなみ、藤井市長と橋本議長が市内9カ所の障がい者施設を訪問しました。

白鳥園では、恒例のもちつき大会に参加。多くの参加者で熱気を帯びた会場で昔ながらの杵でもちをつきました。



ふれ合いもちつき大会

12月28日 恵愛学園

東かがわロータリークラブが恵愛学園で恒例の餅つき大会を開催しました。小雪がちらつく中、園生やクラブのメンバー、関係者ら約80人が参加。子どもたちは手伝ってもらいながら「よいしょよいしょ」の掛け声に合わせてもちをつき、つき上がったもちをまるめました。



外科手術体験セミナー

12月25日 県立白鳥病院

地元の中学生に医療をより身近に感じてもらう外科手術体験セミナーが白鳥病院で開かれました。

この日は、引田・白鳥中学校の生徒らが参加し、手術室での手洗い実習や最新機器を使った模擬手術などを体験しました。

参加していた中村さんは「将来は、大変だけど人の命を救うために医療に携わる仕事にしたい。」と話してくれました。



世界の子どもたちにワクチンを

1月14日 市役所大内支所

東かがわライオンズクラブ（若松高美会長）と有限会社マサヤ（杉川幸社長）、市国際交流協会（田中勝弘会長）が、「世界の子どもにワクチンを届ける運動」に関して昨年暮れに協定を締結。この日、出発式を行いました。本市が行っていた「エコキャップ運動」を引き継ぎ、三者が啓発、回収、売却、送金などを役割分担して、さらに運動の拡充を目指すことにした。この日は、大内支所に集められていたおよそ25万個のペットボトルのキャップが運搬車に積み込まれました。関係者らは、発展途上国の子どもたちに1本でも多くのワクチンを届けたいと意気込んでいます。市民のみなさんのご協力をお待ちしています。



スポーツ大会を開催

10月～12月 各所

市子ども会育成連絡協議会主催のスポーツ大会が開催されました。大内支部では10月26日にドッジボール大会（279名参加）、引田支部では11月15日にソフトバレーボール大会（42名参加）が、白鳥支部では12月14日に綱引き大会（233名参加）が盛大に行われ、子どもたちは優勝を目指して真剣

に取り組んでいました。お互いの親睦を図ることもでき、みんな楽しくスポーツに打ち込んでいました。



大内支部



白鳥支部



引田支部



投稿募集 写真(データ可)、1500字程度の記事、連絡先をP15の宛先まで

譚志遠さん大内小訪問

「とらまる人形劇カーニバル」に來日した中国伝統人形の使い手である譚志遠さんが、10月31日に大内小学校を訪問し、「西遊記」などを披露しました。また、人形劇クラブ員に人形の作り方や、演じ方を指導するなど交流を深めました。



大内小学校 人形劇クラブ員に譚志遠さん演技指導

(間嶋 喜美雄)